

# 東京都子ども会新聞

第213号  
冬号  
2021年12月20日

題字 山中 睦夫 氏

子どもの笑顔と  
生きる力を育てる

発行責任者：特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会 理事長 齋藤 武  
〒112-0012 東京都文京区大塚6-1-14 全国子ども会ビル4階  
TEL：03-3946-2340 FAX：03-3946-2341  
HP：https://www.kodomo-kai.or.jp/tokyo  
E-mail：tokoren@galaxy.ocn.ne.jp




## 第50回東京都子ども会育成研究協議会が開催されました テーマは「子供会の今後の在り方（方向性）について」

第50回東京都子ども会育成研究協議会は緊急事態宣言の影響で2年越しの開催となりました。未だ各市区町子ども会も活動が停滞している中で、コロナ禍の活動再開の光となることを願っております。

昨年、都子連は50周年を迎えました。予定していた記念式典・記念イベントなどが全て中止になりましたが、式典用に準備したDVDを観覧頂き50年の歩みを感じて頂きました。開会に先立ち物故者へ黙祷を捧げ、司会者より開会が宣言され、全子連、都子連、八王子市子連と主催者の挨拶が続きしました。表彰式に移り令和2年度、3年度の順に齋藤理事長より表彰状の授与が行われ、続いてご来賓の東京都都民生活部長 馬神祥子様・八王子市長 石森

孝志様・教育長 安間英潮様よりご祝辞を頂きました。また、経済産業大臣 萩生田光一様が到着されすぐにご



祝辞を頂き、「元文部科学大臣として、子ども会を力強く応援していきます」と挨拶され感銘を受けました。ご来賓と受賞者との記念撮影が行われ表彰式は終了いたしました。休憩をはさんで、講師に東京学芸大学学長補佐 小森伸一先生をお招きしての基調講演がスタートしました。

### 令和2年度表彰者

- ・団体表彰  
どんぐり子供会（小金井市）  
押部子ども会（足立区）
- ・個人表彰  
石黒めぐみ（小金井市）  
鈴木健治（足立区）  
菅原紀和（足立区）



### 令和3年度表彰者

- ・団体表彰  
わかば子ども会（足立区） 坂上北組子供会（小金井市）  
新田ジュニアクラブ（足立区）  
東子ども会育成会（足立区）
- ・個人表彰  
西村秀彦（足立区） 日高佐和子（足立区）  
村野勉（八王子市） 岩田茂（八王子市）





**[基調講演]自然の中での集団宿泊体験を通して子ども達は何を学ぶのか 小森 伸一氏(東京学芸大学学長補佐)**

子ども達にとって『自然と集団体験の中で学ぶ事は大事』ということを我々、育成者は何となく理解していた。この『何となく』を小森先生の基調講演で体系的に理解させて貰いました。子ども会の存在意義は子ども達を積極的に自然体験、集団体験を通じて育成する事があると再認識させて頂きました。特に印象に残ったことは、直接体験を通して成長につなげる7



つのポイントの中の『レジリエンス(折れない心)を高める』です。



このレジリエンスを子どもの時に高められれば、将来起こるであろう逆境・困難から立ち直る力が身につくと考えられている点です。まさに育成者として子ども達の成長に求めている結果だと思えます。

**[第1分科会]これからの子供会は何を求められているのか? 吉川 耕一氏(江戸川区立共育プラザ南篠崎館長)**

この分科会では「子どもたちへの願い」と題した36のリストを利用したグループワークから始めました。

「こんな子どもに育てて欲しいと思うもの」  
「こんな子どもでなくてもよいと思うもの」  
をまとめる作業を行い



ながら、各自子どもへの思いが多様であること、良い子・悪い子と分けることなく、大人としてはすべて認めることが大事であることを確認しました。理想の子ども像を描くより、様々な体験をとおして成長する子ども達自身を大切に、今の子どもたちが興味のあること、子どもに選んでもらえるようないろんな体験学習を行って、まずは参加してもらおうことが求められているということでした。最後に経済的な背景に関係なく、だれでも参加できる子ども会の強みを活かして次のステップにつなげて欲しいとのお話しを頂きました。

**[第2分科会]子どもに寄り添える子ども会育成者の発掘と育成について 高井 正氏(立教大学・社会教育講座 特任教授)**

「人生100年時代」「新型コロナウイルスと共に生きる」など、誰にでも共感と気付きをいただける話題に、ドンドン引き込まれ部会は進みました。ワクワクして好奇心をかきたてる工夫により、子どもも大人も参加したいと感じる活動作りができ、子ども会会員が増えることで「育成者の発掘と育成」に繋がるという先生のお話しは、暗礁に乗り上げかけている問題の希望の光のように感じました。子ども達の「声」をしっかりと受け止め、「聴く」ことはいつの時代でも大切で

すね。終わりに、「自分自身のモチベーション特性を知る」ワークを行いました。10個の質問に、“非常に当てはまる”“次に当てはまる”で答えて、4つのタイプに分類されます。ポジティブな性格診断のようで、「当たってます!」とあちこちで盛り上がりました。



**レクリエーション紹介 (小金井市 南小地区5子供会合同イベント)**



2021年10月30日(土) 南小校庭 13:20~15:00  
参加 180名(会員150、加入希望者30)  
当日運営 小5以上15名、JLリーダー6名、世話人20名



放出を待つハンター(6年生)

ハンターは、野球チームとサッカーチームの6年生が約15名。俊足なハンターに子供たちは、大興奮。コロナ禍で子供会活動が思うようにできない中、思いっきり校庭を走り回りました。

工夫した点は開会式を簡略化するため、チラシにルール事前説明、限定公開のYouTubeで、全世界に諸注意を周知しました。打合せは指示書を作成し共有することで簡略化しました。

出費: チラシ、リストバンド、備品代で¥13,000、

参加賞ジュース@85/本を200本

ご寄付: 隠れポイント用の段ボールは地域の段ボール会社より。

参加賞のピックサンダーは製菓会社の協賛で頂きました。



**[第3分科会]コロナ禍で密にならないゲーム&クラフト 岩田 茂氏、松田 計男氏 (八王子市子ども会育成団体連絡協議会所属)**

まずアイスブレイキングも兼ねて、屋内で座った状態でできる手指や腕を使ったゲームが紹介され、参加者全員で楽しみました。これらのゲームは参加者が声を出さずにでき、子どもからお年寄りまで楽しめます。

緊張がほぐれたところで、松ぼっくりを木に見立ててクリスマスツリーの飾りつけを行うクラフトが紹介されました。松ぼっくり以外の材料は100均などで入手できるものばかりで、参加者は黙々とツリーの飾りつけに取り組んでいました。



**[ジュニア・リーダー部会]ソーシャルディスタンスを意識したコロナ対策活動の開発・共有 渡辺 栄太氏、渡辺 栄次氏、久保 卓也氏 (江戸川区子ども会連合会所属 CAMPKIDS)**

CAMPKIDS は江戸川区子ども会連合会ジュニア・リーダー講習会講師とカウンセラーの主なメンバーとキャンプ参加者だった高校生や大学生などで構成された団体。集会で事業計画の会議と準備、備えとしての研修を行い、自然豊かなキャンプ地でのサバイバルキャンプや、学校などで災害時に備えたキャンプや被災地支援活動を行っている。

今回、コロナ対策活動とコロナ対策ゲームについて、紹介して頂きました。対策活動として、地域の感染症対策マニュアルを参考に、必要に応じて抗原検査も取り入

れ、独自でマニュアルを作成し、参加人数を以前の1/3程度にし、日程も宿泊・飲食なしのマスクを外す行為をなくすなどして



いる。対策ゲームとして『クラフトの可能性』と『レクリエーションについて』を説明頂きました。

まとめとして、コロナで控えるのではなく、コロナを逆手に取った活動をしていく一番伝えたいのは、ゲームの開発よりも基本のスタンスが大事ということでした。

**[全体会]**

午後はそれぞれ担当の分科会へ移動した後、グループワークを1時間程行いました。終了後はイベントホールで、第1分科会、第2分科会、第3分科会、JL部会の順番で発表者から報告がありました。分科会での話し合いが活発だった様子が事細やかに報告されて、部会が有意義な会であったことが伝わりました。



講評では全子連・常務理事 山本様、都子連・相談役 石井様方が長い子ども会活動の経験から、子ども達の世代によって活動が異なる様子をユーモアたっぷりにお話しされて、緊張もほぐれて、笑い声も聞かれて、楽しい報告会になりました。

**[閉会式]**

最後に八王子市から足立区に都子連旗の引継ぎ式がなされて都子連副理事長 佐藤昌信より閉会が宣言され散会致しました。



**桧原山荘レポート**

～新名所 檜原森のおもちゃ美術館とひのはらファクトリー

**檜原森のおもちゃ美術館**

檜原産の木材をふんだんに使用した建物、玩具を実際にふれて楽しむことができます。木材ごとに異なる質感を足裏で、手で、目で感じるすることができます。工作室もあります。

**ひのはらファクトリー**

～見る、食べる、買う

檜原村を表現したメインルーム



素材を活かしてないにつくられた玩具がいっぱい。



外にはツリーハウス

イートインもありました!

おもちゃ、雑貨



桧原山荘は12月1日(水)より冬季閉鎖期間となります。貸出再開は3月20日(土)です。





# 子ども会に入ろう



子ども会は、子ども達に生きる力と優しい心を育み、体験を通じて感動や社会性を与える活動を行っています。  
 子ども会活動を安心して行うためには共済に加入することもわすれないうで！  
 全国子ども会安全共済会に加入すると、「全国子ども安全共済」と「子ども会賠償責任保険」の二つの保証が受けられます。

## 【全国子ども安全共済】

年額費用 70円(子ども会賠償責任保険料・全子連運営費含む)

※東京都子ども会連合会年会費 150円の中から支払います。

対象 東京都子ども会連合会に加入している子ども会会員・育成会員・指導者など

適用範囲 子ども会活動中の事故(子ども会活動への往復途中も含まれる)

条件 年間計画書に届出のある行事であること

申込書等の書類はインターネットで入力できます。

共済金額 ①死亡 600万円

②後遺障害 7万円~600万円

③負傷・疾病 ・健康保険等を適用した医療費総額の30%  
・支給額 1,000円~50万



## 【子ども会賠償責任保険】

子ども会活動中の事故により主催者以外の会員や第三者が死傷した場合、第三者の財物に損害を与えた、もしくは他人から預かった財物に損害を与え法律上の損害賠償責任を負ったとき、保険金が支払われます。

### 〈支払限度額〉

身体障害	1名につき	1億円	免責金額 なし
	1事故につき	5億円	
財物損壊	1事故につき	200万円	※免責金額 1,000円

## 問合せ先

特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会

☎ 03-3946-2340

## 報告

・令和3年度東京都青少年健全育成成功労者等表彰  
江戸川区 葛西重敏 様

・第54回全国子ども会育成中央会議・研究大会  
中止のお知らせ

令和3年11月20日(土)~21日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、参加者及び関係者の皆さまの健康・安全面を第一に考慮した結果、中止することにいたしました。

尚、表彰式は2月21日(月)

東京都一ツ橋ホール(日本教育会館)にて行います。

## お知らせ

- ・2022年度リーダー大会(5月3・4・5日) 松原山荘
- ・2022年度育成研究協議会11月13日(日) 足立区

## 活動紹介

八王子市市連「文化の日子どもの集い」が11月3日(水・祝)に盛大に開催されました。八王子市役所前の河川敷を利用した広い会場で450名を超える子ども達がゲーム、クラフト、ステージ等を楽しみました。



江戸川区一之江支部お楽しみ会が  
11月21日(日)一之江第二小学校体育館にて…続きはWebでどうぞ!  
(<https://www.kodomokai.or.jp/edogawa/2021/12/08/ichihinoesibu/>)



## 編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大により延期されていた第50回東京都子ども会育成研究協議会が11月14日(日)の八王子市学園都市センターで感染症対策を行いながら開催されました。久々の対面での講演会やグループワークではコロナで止まってしまった子ども会活動を取り戻すためにどなたも真剣に取り組んでいました。子どもにとっての体験活動の大切さを再確認し、withコロナの環境であっても子どもの声に耳を傾け、子ども会だからこそできる工夫をして取り組んで行こうと思いました。

都子連広報部 大久保美千子